

旧三重高校跡地の検証

～ 今後も当初計画を働きかける ～

質

当時は、240人の生徒増とのことだったが、現実には助産学科の20人が増えただけである。

当初の利用計画とは大きくかけ離れており、現時点での中間的評価は失敗といえる。

しかし、無償貸付の契約終了まで、あと21年もあるが、市の対策は。

答 市長

高齢化が進む本市にとって地域医療の充実が必要であり、卒業生が市内で活躍していただけることで、市民の皆さまも地域で安心して生活ができるようになります。このことから後藤学園は重要な役割を担っていると考えています。

質

平成20年9月1日に、藤華医療技術専門学校と無償貸付の契約をし、4年が経過した。

学科別の生徒数や4年前との生徒数の増減など、現在の同校の運営状況は。

答 市長

現在、看護学科（3学年）150人、理学療法学科（3学年）90人、作業療法学科（3学年）90人、助産学科20人の全校生徒350人で、平成21年の生徒数より7人多くなっています。

質

当時の執行部の説明では、経済波及効果は総合効果として、年間2億9千万円程度が見込まれるとのことであったが、現在、どのくらいの効果があると考えているのか。

答 市長

計画では、生徒数などの増加により、経済波及効果額を約2億9400万円と算出していましたが、理学療法学科や作業療法学科の3年制から4年制への移行、国際製菓調理専門学校に移転が実施されていないため、直接的な効果は約3300万円と考えています。



あか けん じ 二
赤 嶺 謙 二



後藤学園の当初計画の実現により、本市に大きな波及効果をもたらすことは、十分見込まれることであり、市民の皆さまも期待して

いますので、今後も学園側に当初計画の実現に向けて、努力していただけるように働きかけをしてまいります。

7月豪雨災害、被災農家への対応は

～ 農林整備課内に対策室を設置 ～



あん どう とよ さく
安 藤 豊 作

質

被災地域では高齢者も多く、災害復旧をどうするか、結論を出すには限られた時間内では厳しいものがある。

大規模な災害時、関係する機関や組織が一体となった対策室を設置し、総合的に対応すべきでは。

答

農林整備課長

農地災害に関しては、本庁や支所で申し込みを受け付け、農林整備課内に対策室を設置し、関連する組織とともに、現地に出向き、関連地域や被災農家への対応を行いました。



朝地町志賀



緒方町草深野

質

固定資産税の評価替え年であり、均衡のとれた資産評価でなければならぬ。

評価の方法と、今後の税収の見込みは。

答

税務課長

固定資産の評価は、総務大臣が定めた基準に基づき行われますが、土地の評価については、売買実例価格を基に算定した正常売買

全市が^{きんこう}均衡のとれた資産評価を

～ 状況類似^{るいじ}地区の見直し調査に努める ～

価格を基礎とし、地目別に定められた評価方法によって行われます。

宅地の評価は、商業地や住宅地など状況の類似する区域ごとに標準的な宅地を選定し、市内で評価額が最も高い宅地が基準地となり、その他の宅地を標準地とし、その宅地を不動産鑑定士による鑑定評価を行い、その価格に比準して当該区域内の各筆の宅地の評価額を算定してします。

本年度予算は、前年度決算より8400万円の減収となつていますが、現在、総務省において、税の軽減措置見直しが進められており、軽減措置が縮小されれば、税収も増えるものと考えます。

※その他の質問
・ 国保税納税通知書に記載されている算定方法について